



平成 26 年 9 月 3 日

各 位

会社名 株式会社 ストリーム  
代表者名 代表取締役社長 劉 海濤  
(コード番号：3071 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 土屋 敏  
(TEL. 03-6858-8189)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 3 月 12 日に公表した平成 27 年 1 月期の第 2 四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 27 年 1 月期 第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正(平成 26 年 2 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	9,957	108	105	53	2.30
今回修正予想(B)	10,786	10	26	104	4.45
増減額(B-A)	828	△98	△79	50	—
増減率(%)	8.3	△90.6	△75.1	94.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	7,299	△164	△161	△140	△7.06

単位：百万円

2. 平成 27 年 1 月期 第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正(平成 26 年 2 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	5,780	89	69	2.98
今回修正予想(B)	6,590	74	50	2.14
増減額(B-A)	809	△15	△19	—
増減率(%)	14.0	△17.2	△28.3	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	4,179	△107	△65	△3.30

単位：百万円

※当社は、平成 26 年 2 月 1 日付で、普通株式 1 株につき 100 株の割合で株式分割、平成 26 年 8 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益及び 1 株当たり四半期純損失を算定しております。

### 3. 修正の理由

#### (連結業績予想)

当社グループのインターネット通販事業におきましては、前期より効率的な販売促進を図るため、市場価格への迅速な対応や、仕入先とのデータ連携の強化による取扱アイテム数の増加、在庫の適正化等の施策継続を推進し、家電製品及びパソコン周辺機器・デジタルカメラ等の主要商品群の販売実績は前年実績を大きく超え、価格競争の影響から営業利益・経常利益は計画水準をやや下回ったものの、売上高は総じて堅調に推移しております。

また、当社グループのその他事業（平成 26 年 2 月 3 日に連結子会社化した株式会社エックスワンにおける会員制無店舗販売事業）においては、会員からの年間更新料の収入（前年実績 81,320 千円）が 10 月にあることから、第 3 四半期連結会計期間に売上高が増加する傾向にあります。他方、営業費用は、商品カタログの制作代金や会員向けセミナーの開催費用等（本年実績見込み 70,091 千円）が第 1 四半期及び第 2 四半期連結会計期間に先行して発生するという要因があります。このような状況の下、当該営業費用が当初計画を上回ったことから、当第 2 四半期連結累計期間の利益が平成 26 年 3 月 12 日に公表しました業績予想より減少いたしました。

なお、当期純利益については、株式会社エックスワンの連結子会社化に伴う負ののれん発生益等の計上により当初予想を上回る見込みとなりました。

上記の事由により業績予想を修正するものであります。

通期の業績予想につきましては、営業費用の低減を図ること及び第 3 四半期連結会計期間以降は上記の季節ごとの費用と収益の発生時期のズレによる影響が相殺されることにより、通期業績は当初見込みに大幅な変動はないものと予想していることから、現段階におきましては平成 26 年 3 月 12 日に公表しました業績の予想数値を据え置いております。

#### (個別業績予想)

個別業績予想の修正理由は連結業績予想に記載のインターネット通販事業の内容と同様であり、価格競争の影響から粗利益が計画水準をやや下回ったものの、売上高は総じて堅調に推移しております。

以上